

平成 25 年 2 月総務企画委員会 議事概要

H25.3.6 作成

H25.3.8 修正

H25.3.14 修正

日 時：平成 25 年 2 月 19 日(火) 18:00～

場 所：建築士会 会議室

出席者：(委員長)金子 修司

(副委員長)長田 喜樹

(委 員)二宮 智美、山成 芳直、長谷川 行彦、福井 通、毛塚 尚男、加藤 清、
永井 香織

(オブザーバー)花方 威之

(事務局)佐川事務局長 田中職員

欠席者：(担当常任理事)村島 正章

(委 員)芝 京子、石井 明、山根 三郎、菊嶋 秀生、高橋 聡

<会長挨拶>

・一般社団法人移行認可申請については、神奈川県と調整を行い何度か手直しを加えておりますので、以前お諮りしたのから内容が変わっている部分もあります。3月4日開催の審議会に諮られることとなっています。

次年度は役員改選があります。選挙公報等、本委員会でも議論いただきましたが、先日理事選挙世話人会が開催されました。その経過を3月8日開催の役員会に報告させていただきます。

◆平成 24 年度収入・支出予算及び執行額(平成 25 年 1 月 31 日現在)【資料 1】

・前年度との対比しかできず、傾向と対策を検討することがなかなかできませんが、昨年同期は若干の黒字であったのに対し、本年は若干の赤字となっています。昨年は臨時的寄付収入もあったため黒字化しました。今年はそれを差し引いた程度の赤字にとどめたいと考えていましたが、予想以上の赤字です。

収入総額は前年度と比べても大きな差がありませんが、内容を見てみると、会費収入の減少が想定を上回っていること、講習会収入・指定登録機関収入が、ともに減収であったことがわかります。受託事業収入は前年を上回っていますが、事業の性格上、収支の改善には寄与できない収入です。したがって、会費滞納の解消に努めるとともに、60周年記念事業への参加費収入増を図りたいと思います。

[質疑応答]

問：今年度分の会費の未払者は何名程ですか。

答：200名程です。

<<会長より補足>>

・合格者数の減少により士会の底辺が減少してきています。このままでは会費の増額も検討しなくてはならない状況です。

問：60周年記念事業への参加申込者は何名程ですか。

答：会場定員の3割程度です。

問：60周年記念事業について、支部の反応はいかがですか。

答：支部長間や支部間でも話題には挙がっています。

<<会長より補足>>

・図説が2月22日に仕上がります。実物をご覧になれば、申込者も増えるのではないのでしょうか。

問：図説だけを希望される方はどうなりますか。

答：式典に参加された方との公平上、参加費と同額をいただきます。

《委員より》

・図説が届き次第、写真等をHPに掲載してPRしてください。また、可能であれば申込者のリストを各支部長へ送付してください。

問：参加費は非会員でも同じですか。

答：同じです。

＜確認事項＞

1 前回(1/15)議事録の確認【資料2】

○前回議事録案が異議なく承認されました(前回同様、メーリングリストで事前送付済み)。

＜報告事項＞

1 平成25年度(社)神奈川県建築士会事業計画(案)について【資料3】

2 平成25年度(社)神奈川県建築士会予算(案)について【資料4】

《担当職員より報告》

-事業計画(案)-

(重点事業)

・会員増加策の強化として、会員増強タスクフォースの設置を追加しました。委員会実践活動の強化は各委員会より提出された活動計画をそのまま反映したものです。各支部との連携の強化の(2)一般社団法人へ向けての連携準備については、(現在平成25年4月1日移行に向けて動いておりますので)削除します。また、次年度は会員名簿発行の年度です。

-予算(案)-

・本資料は、一般社団法人移行認可資料に合わせた書式です。県との調整の結果、前年度の事業割と変わっている部分がありますので、単純比較できない形式となっておりますことを申し添えます。

(収入の部)

・正会員会費収入は、会員数減少の傾向にあるため前年度比減となっております。専攻建築士制度収入は更新者が減少するため前年度比減となっております。

前年度は情報広報委員会の収入が継続③の欄に入っておりましたが、県との調整の結果法人会計に移っています。

行政協力収入の一級、二級の箇所は建築士試験の実施による収入ですが、普及センターより連絡のあった金額を計上してあります。

一級登録・閲覧は一級建築士の申請に関することですが、昨年の建築士免許偽造問題以降携帯型免許証明書への変更者が増加傾向にあるため、前年度比若干増となっております。

(支出の部)

・委員会からいただいた予算は100%計上しました。なお、支部予算についても同様に100%計上する予定です。投資活動収支は、次年度退職する職員がいるため、その退職金です。

《会長より補足》

・鑑定委員会は、依頼があった際に対応できるように名簿を備えておく必要がありますが、本資料(事業計画(案))に掲載されている委員会活動とは性格が異なるため削除します。建築史図説編纂特別委員会は本年度で役割を終えますが、平成25年度は反省会を開きたいということです。

地域貢献活動特別委員会は、技術支援委員会と合わせてどう動くかを検討中です。なお、景観整備機構の指定は年度内にいただけそうとのこと。

[質疑応答]

問：会員名簿は何年ごとに発行されるのですか。

答：3年ごとです。

《会長より補足》

・以前は2年ごとに発行していましたが、資金面の事情から3年ごとになりました。会員名簿には役員リストも掲載されます。3年周期は理事改正をまたぐこととなりますので、あまりよろしくないと感じています。

問：タスクフォースの位置付けについて、最近の動きを教えてください。

答：建築士会連合会より特に依頼等がなく、逆に単位会から意見をいただきたいとのこと。会員増加策については、青年委員会が活発に動いています。

《副委員長より補足》

・一般社団法人となって初めての事業計画ですので、これまでと同様の内容ではなく何かパンチの効いたものにできればと思います。例えば、景観整備機構委員会を設けることを加えてはいかがですか。

⇒(景観整備機構の指定申請については、)前回の役員会で事務的に進めさせていただくことで了承をいただきました。当初は一般社団法人移行後の予定でしたが、既に申請済みです。次の役員会では事後報告ということになります。

⇒2月21日に申請書を持参する予定と聞いています。

⇒今週中に正式に受理させていただき、おそらく年度内に指定されると思います。

[質疑応答]

問：受託事業については、次年度も今年度と同額の収入を見込んでいますが、大丈夫ですか。

答：この事業は、建築士会連合会からの受託になりますが、連合会では、次年度も本事業について予算計上している旨、送付された委員会議事録に記載されています。なお、次年度は250件程度を実施すると想定して計上しています。

《事務局長より補足》

・本年度の予定件数と実際に調査できた件数との差の積み残し分や、次年度の当初調査予定件数を考慮し、現実には実施可能な件数に絞り込んで計上してあります。

《事務局長より補足》

・本書式は、事業区分を細かく分けたため、スペースの関係上前年度と比較することが難しくなっていました。2月27日に開催する正副会長・常任理事会及び3月8日に開催する役員会へ提出する際は、事業をある程度まとめて、前年度と比較できる書式に変更したいと考えています。いかがでしょうか。

⇒承認されました。

《委員より情報提供》

・建築士会連合会の女性委員会が、国交省より補助金をいただいて高齢者住宅の事例収集を行っています。本会の場合、高齢者住宅問題の窓口は福祉部会が適切なかもしれませんが、連合会女性委員会からの依頼のため、福祉部会への連絡がうまく行きませんでした。

連合会ではなぜ女性委員会が高齢者住宅問題を扱っているかという、全国的には各県士会の女性委員会が分担していることが多いという事情のようです。次年度も続く事業であるので、改めて各県にお願いしたとのこと。

[質疑応答]

問:福祉部会の反応はどうか。

答:まだ話し合いを行っていません。

⇒本件については、建築士会連合会から各県への連絡のあり方に問題があると思われます。連合会の青年委員会や女性委員会が、直接単位士会の同種委員会に情報提供するのではなく、建築士会連合会長から単位士会長へと、各組織の長を通じて提供すべきです。そうすれば、各単位士会内で、実態の則した割り振りができるはずです。

⇒情報の伝達についてルールがあれば連絡漏れや混乱が防げるのではないのでしょうか。建築士会連合会へ提起していただきたいと思います。

3 (社)神奈川県建築士会創立 60 周年記念式典・祝賀会等について【資料 5】

〈事務局より報告〉

・式典においては、会長より建築史図説編纂特別委員会の委員に感謝の意を表したいので、感謝状を進呈します。なお、本会の HP 等でも再度、図説完成の PR をします。

記念式典について、定員 100 名の会場に立食形式で行います。来賓は通常総会並みとなる予定です。

講演会及び記念式典の司会について、前回(50 周年)は玉野会員でした。今回も玉野会員にお願いしようかと考えておりますが、いかがでしょうか。⇒承認されました。

資料 P22 にありますとおり、本委員会から数名のお手伝いをお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。⇒事務局より 3~5 名程度選任することで承認されました。

[質疑応答]

問:記念式典会場には控室はありますか。

答:ありません。

<報告事項>

1 一般社団法人移行認可申請について【資料 6】

〈担当職員より報告〉

・3 月 4 日の公益認定等審議会に諮られる予定です。

※追記…3 月 4 日の公益認定等審議会で一般社団法人移行認可相当の答申をいただきました。

2 第 1 回理事選挙準備世話人会の開催結果について【資料 7】

〈事務局より報告〉

・役員の中から、選挙公報の書式が決まったのであれば、案内をすべきではないかのご指摘を受けましたので、ご案内いたしました。

3 平成 25 年度関プロ第 1 回会長会・第 1 回理事会の開催について【資料 8】

〈事務局より報告〉

・本件については 2 月 20 日に開催される関プロ理事会で決定されます。

※以下の資料は各自確認することとなりました。

4 (公社)日本建築士会連合会 総務・企画委員会記録について【資料 9】

5 事務所法に対する士会連合会の基本スタンスと建築士会の対応について【資料 10】

6 平成 24 年度建築士会定期講習実施結果(第 1 期~第 3 期)について【資料 11】

7 関プロ優良建築物表彰の募集結果について【資料 12】

次回は平成 25 年 3 月 19 日(火) 午後 6 時からの開催です。